



さいたま研究所

- 本社所在地：埼玉県さいたま市中央区上落合 5- 17-1 S4タワー
- 事業概要：①医療健康機器 体外診断医薬品 輸出入販売
②医療関連新製品企画開発
③DMAH包装表示 薬事申請
- 常時使用する従業員：71名
(2026年4月時点)
- 現在の売上高：12.8億円
(2025年3月期)
- 法人番号：1030001010754
- Web：https://icst.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
横井 博之

従業員とともに、100億の医療領域経済循環を自ら興す！

株式会社ICSTは医療領域の機器・消耗品・サービスを通じて、人・もの・金・情報を世界へ循環させる「医療領域の経済循環」を自ら興し、人々の健康に寄与すると共に将来の医療体制の改善と家庭における疾患の早期発見を推進します。医療領域における100億規模の新たな経済循環は、誰もが健康で過ごすことができる社会の実現のための第一歩です。
既に認定を受けている「健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）」をベースに社内で働く従業員が健康で長く働けるような環境・待遇改善に投資し、第1ステークホルダーを従業員としてこの目的を達成します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上高達成に向け、10年で売上高7倍の成長を目指す。



課題

- ・新製品開発と商品企画体制の充実整備と人材確保
- ・医療専門メーカーとしてのBCP対応策の構築
- ・新たなIV（体外診断医薬品）商品と医療消耗品等の開拓
- ・CEマーク取得⇒MDR準拠欧州規格取得
- ・海外市場開拓【南西アジアインド、ASEAN、アフリカ、南米、中東エリア】
- ・DMAH包装表示事業拡大の為の申請部員増員

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・国内商材（医療消耗品・体外診断医薬品・医療機器）を拡大する為、企画部人員補充とプロダクトマネージャークラスの人材確保投資を行います。
- ・ECサイトによる「NOZOMIHOME」商品群を充実しB to Cビジネスを拡大する投資を行います。
- ・JETRO、JICA等政府機関活用による海外パートナーとの接点を増やし、海外展示会【MEDICA】出展を継続する事により海外事業を拡大推進します。

実施体制

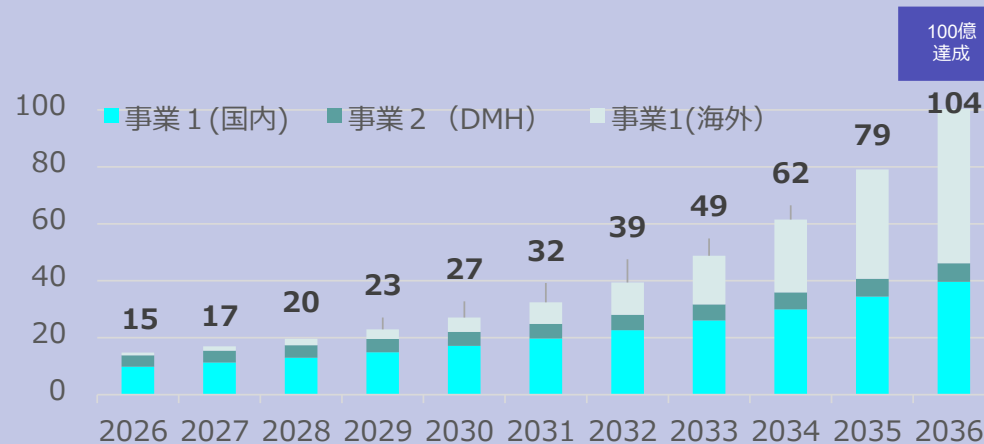
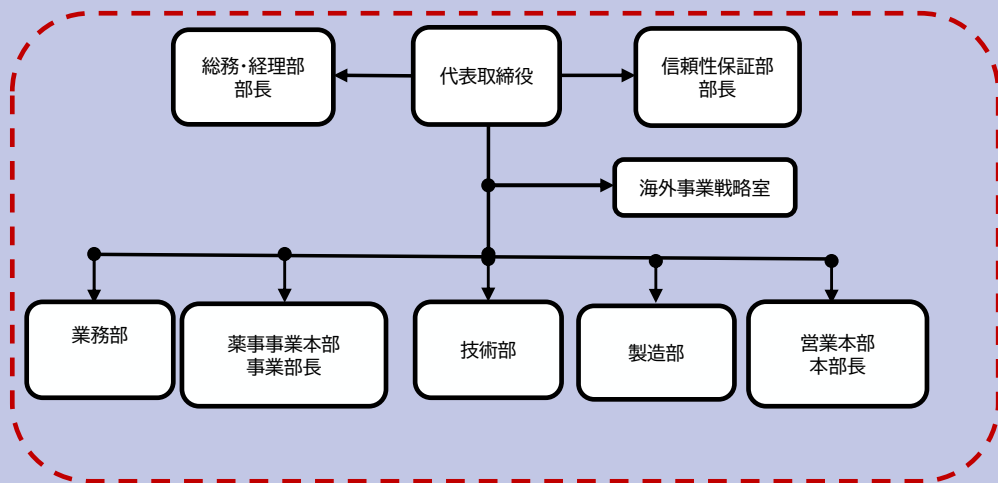
- ・社長直轄の「海外事業戦略室」を設置、南西アジア（インド）ビジネス【輸出】から挑戦を行います。（2026年内目標）各海外商圏へ向けてパートナーシップ構築を推進します。
- ・ASEANエリア(2027年)、中東・アフリカエリア(2029年)、南米エリア(2030年)、この間事業部長クラス人材の雇用確保と海外営業部門の人員雇用(5名程度)を行います。
- ・CEマーク取得の為、外部コンサルティングによる調査準備(2026年)と取得挑戦を2027年に行います。
- ・医療機器メーカーとしてのBCP手順書作成します。（2027年）

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

株式会社ICST（売上高100億円実現の具体的措置）

売上高100億円実現に向けた具体的措置（目指す成長手段・実施体制）

ICSTは医療・健康機器及び体外診断医薬品(IVD)に輸出入販売、医療健康機器等の新製品企画開発、資格を活かしたDMAHサービス申請事業の3本柱で事業を拡大してきました。これら3事業を国内市場拡大する基本方針として医療機器消耗品及び体外診断医薬品や酸素濃縮器レンタルなどの商品拡大を行い事業拡大を図ります。CEマーク取得により海外販路拡大の基本要件を整えると共に社長直轄の海外事業戦略室にて2027年以降の海外事業戦略を描きます。組織としては以下の2本部、5部と代表取締役直轄プロジェクトで構成して目的達成の為に推進を行います。



100億達成